

図書館電子ジャーナル利用メモ

農学部 食料生産環境工学科
豊田浄彦

1 はじめに

最近、附属図書館の電子ジャーナルを利用する機会が頻繁にあります。その多くは研究室のゼミ担当学生に文献を紹介する際ですが、検索と同時に原著論文が入手できるという便利さに魅力を感じています。大昔にロッキード社の Dialog を使い、現在は国立情報学研究所の NACSIS-IR のお世話になっている小生にとっては、商用データベースの機能性と操作性は必ずしも同時に満たされるものではないということを経験から理解しています。現在の電子ジャーナルにも若干の満足できない点がありますが、許容範囲内と考えています。それよりも、検索論文の全てではありませんが、その場で原著論文を見て必要性を判断できるので大変助かっています。また、学生が事前の登録等の手続きなしで自由に使えるという点も魅力です。既に多くの方が利用されていることとは思いますが、参考までに Elsevier 社の Science Direct Online (SD21) の簡単な利用例を紹介します。

2 電子ジャーナルへのアクセス

附属図書館のホームページ(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/>)では幾つかの電子ジャーナルが提供されていますが、図 1 中の Science Direct Online (SD21) では 1000 タイトル以上の雑誌が検索できます。

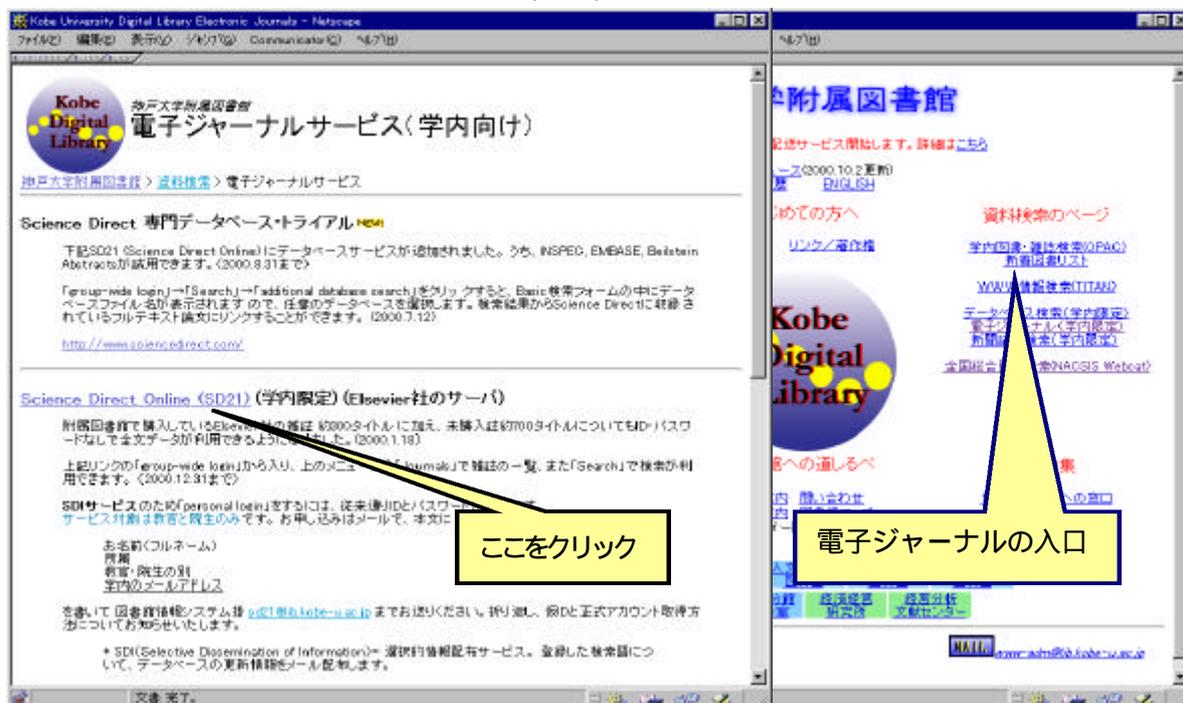


図 1 電子ジャーナルサービスと附属図書館のページ

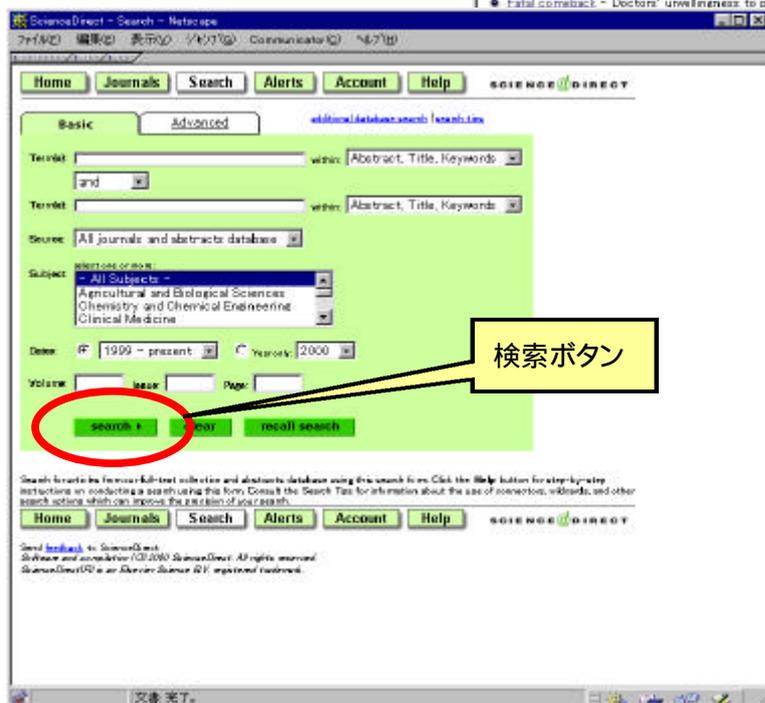
電子ジャーナルの最初のページ中で『Science Direct Online (SD21)(学内限定)(Elsevier 社のサーバ)』をクリックし、Science Direct のページに移ります。



ウィンドウ内の右上にある **personal login** と **group-wide login** のボタンのうち、通常の検索であれば、**group-wide login** をクリックします。尚、**personal login** をすると、登録した検索語についてデータベースの更新情報をメール配布する SDI (Selective Dissemination of Information) というサービスが利用可能になります。但し、

登録が必要で、利用は教官と院生の限定されます。

SD のホームページで検索の仕方、つまり、雑誌タイトルがキーワードで検索するかを指定し、それぞれのページに移動します。



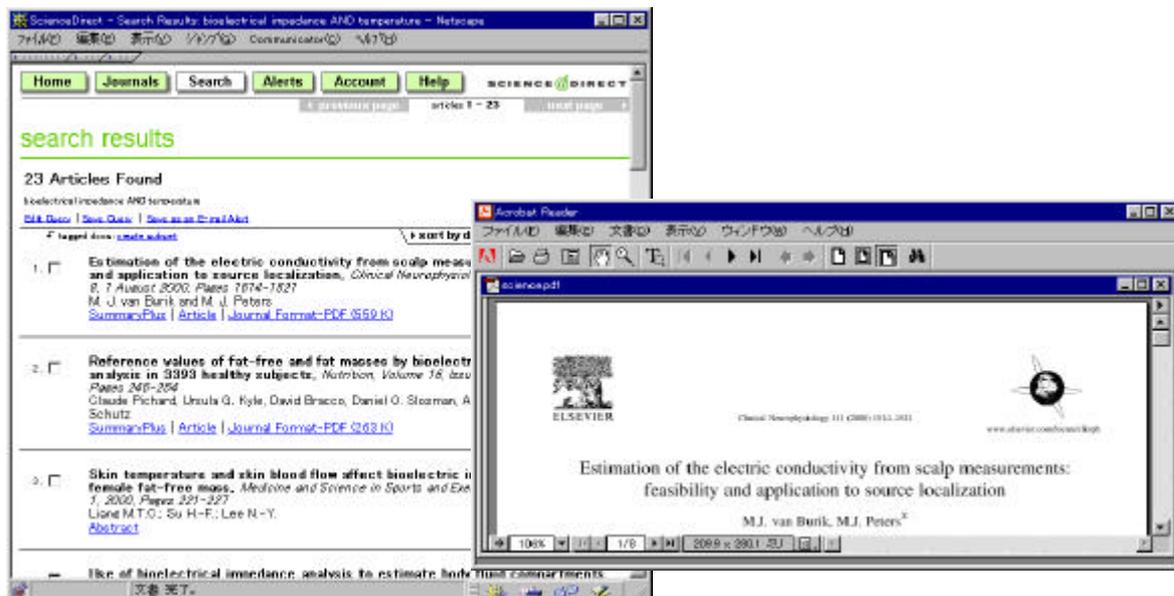
キーワード検索の場合、単純検索の BASIC と高度な検索が可能な ADVANCED のモードがあります。BASIC モードではキーワードを二つまで指定できます。キーワード、検索雑誌の範囲、発行年、巻号等を指定し、search ボタンを押すと検索を開始します。但し、検索キーワードを入力する欄が小さく見えにくいのが気になります。

ADVANCED モードでキーワード

「bioelectrical impedance」と「temperature」の論理積で検索した結果、23 件のヒットがあり、1

番目の文献について原著論文を参照した例を示します。

キーワードを変更して再検索する場合は、検索結果のページ末尾にある [Edit Query](#) ボタンを選択します。ブラウザの戻るボタンでは、前回のキーワードが再表示されないことがあります。



このように、非常に簡単な操作で文献を参照することができます。現在のネットワーク環境が整いつつある状況では、ある意味で当たり前の出来事かもしれませんが、毎回、文献複写を図書館に依頼する必要がないので大変助かります。

3. おわりに

ネットワークを介して原著論文を直接参照できるのは、電子図書館の機能の一つですが、日本の学術誌の多くがペーパーウェアで流通している現状を考えると興味深いものがあります。学術誌を調べるより大変便利なので、将来、このようなサービスに載らないペーパーウェアだけの学術誌は利用に不便を感じるようになるでしょう。極端な話、存在しないも同然と扱われるようになるかもしれません。また、今回は Elsevier 社のものですが、出版社が寡占的にサービスを提供すると、出版母体別に専門学術誌の淘汰が進むかもしれません。サーバー側からは原著論文の請求回数が見えるので、文献引用回数に基づく impact factor とは別の、最近数週間や数ヶ月という範囲のより動的な業績評価指標を得ることも将来可能になるかもしれません。

以上、簡単に電子ジャーナルの使用例を紹介しましたが、参考になれば幸いです。

おしらせ

記事をまとめる当たって、自然科学系図書館の担当の方に内容を確認したところ、本誌が発行される頃まで、Elsevier 社の電子ジャーナル・サービスが維持できるか不明とのショッキングな情報を頂きました。ご存知のように、図書館では毎年、購読雑誌の見直しをしています。今回、Elsevier 社の雑誌契約金額の減少により、同社で電子ジャーナルのサービス提供の「見直し」をしているとのこと。もし、サービスが中止されるようだと、記事の内容は過去のものとなってしまいます。しかし、電子ジャーナルの発展は時代の趨勢と思われるので、その内容を知っていただくことは、無駄ではないと信じます。本学でのサービスが中止されないことを祈りながら、お知らせまで。